

【概要版】松江市伝統文化芸術振興計画 第1期実施計画

1. 「松江の文化力を生かしたまちづくり」

(1) 松江の文化力を生かしたまちづくり条例

制定日：令和3年3月30日

(2) 松江市伝統文化芸術振興計画

策定日：令和3年3月30日

計画期間：令和3年度～令和14年度の12年間

(3) 松江市伝統文化芸術振興計画 実施計画

第1期 実施計画：令和3年度～令和6年度の4年間・・・種まき期

第2期 実施計画：令和7年度～令和10年度の4年間・・・成長期

第3期 実施計画：令和11年度～令和14年度の4年間・・・収穫期

(4) 松江市伝統文化芸術振興審議会

委員：15名（会長：垣内恵美子政策研究大学院大学教授ほか14名）

実績：第1回審議会 令和3年8月31日(火)

第2回審議会 令和4年1月24日(月)

第3回審議会 令和4年3月29日(火)

実施計画を
紹介します



2. 「松江市伝統文化芸術振興計画 第1期実施計画」の概要

(1) はじめに P1

- ・ 条例及び振興計画で定める「松江の文化力を支える七つの柱」「六つの取組の視点」について掲載『松江の文化力を支える七つの柱』

①古代から近代までの豊富な文化財、②地域に根づく伝統文化、③市民生活に根づく茶の湯文化、④小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化、⑤市民とともに育む文化芸術活動、⑥伝統文化芸術活動の拠点となる施設、⑦宍道湖、堀川、中海等の松江的景観

『六つの取組の視点』

①「知る」、②「育てる」、③「伝える」、④「創造する」、⑤「活用する」、⑥「支える」

(2) 策定の目的と計画期間 P2

- ・ 振興計画で定める取組方針に基づいて取り組む施策や具体的な事業を整理し、進捗管理を行うことで、松江の文化力を生かしたまちづくりを推進し、めざすべき姿を実現するため策定するもの。

(3) めざすべき姿 P3

- ・ 振興計画で定める「誰もが松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かに暮らせるまち」を分かりやすく伝えるため、イメージ図を作成

(4) 現状と課題 P4～P11

- ・ 本市が取り組む伝統文化芸術振興事業を「七つの柱」と「六つの取組の視点」でマトリックス分析した結果を掲載 P4～P5

①「七つの柱」では、「文化財」が最も多く、「景観」が最も少ない

②「六つの取組の視点」では、「伝える」が最も多く、「創造する」が最も少ない

- ・ 他中核市との比較結果を掲載 P6

①文化財保護費に係る事業費は多いが、芸術文化に係る事業費は少ない

- ・ 団体・個人アンケート調査及びヒアリング調査の結果を掲載 P7～P9

- ・ 7つの課題に整理して掲載 P10～P11

①次世代への継承が困難、②活動・発表機会が少ない、③情報発信の不足、

④触れる機会が少ない、⑤交流機会が少ない、⑥資金の不足、⑦利用しやすい施設の不足

(5) 「七つの柱」ごとに取り組む施策や事業 P12～P25

- ①振興計画で定める「柱の説明」、「めざすべき姿」、「取組方針」を掲載
- ②「めざすべき姿」と「取組方針」を分かりやすく伝えるため、イメージ図を作成
- ③令和6年度に向けたKPI（重要業績評価指標）を掲載
- ④審議会やヒアリング、アンケートでの意見・要望を掲載
- ⑤意見・要望を踏まえて取り組む主な事業を掲載
- ⑥取り組みを推進する部署や関連する条例・計画を掲載
- ⑦柱の例示を掲載

(6) 七つの柱に共通して取り組む施策や事業 P26～28

- ①情報発信
 - ・紙媒体、ホームページ、SNSを組み合わせた効果的な情報発信
 - ・イベントや文化財などの情報を一元化し、入手しやすい環境づくりを推進
 - ・外国語での情報発信の強化
- ②人財育成
 - ・文化に関わる者：伝統文化芸術を体験・鑑賞する機会の充実
 - ・市職員：長期的視点に立ったジョブローテーション（戦略的人事異動）の検討
- ③活動に必要な資金の財源確保
 - ・国や県、企業などの支援制度の情報収集と活用
 - ・伝統文化芸術活動を行う者による資金確保（クラウドファンディングなど）
 - ・市の財源確保と伝統文化芸術活動への支援（ふるさと納税など）

(7) 推進のあり方 P29～P31

- ①推進する上での役割
 - ・市と市民、伝統文化芸術活動を行う者、事業者、松江の伝統文化芸術活動に関心がある者の役割を掲載
- ②関係機関との連携及び市の推進体制
 - ・市の推進体制では、文化スポーツ部など令和4年度からの組織機構を反映
- ③実施計画の評価・検証
 - ・PDCAサイクルにより、審議会での進捗管理を毎年度実施し、必要に応じて実施計画を見直す
 - ・実施計画の目標値を設定
 - 「松江の伝統文化芸術を誇りに思い、心豊かになれるまち」だと考える市民の割合
現状値(令和3年度)：58.9% ⇒ 目標値(令和6年度)：65% 毎年2%上昇

(8) KPI一覧と令和3～6年度実施事業一覧 P32～P59

- ・七つの柱ごとに掲載したKPIの一覧を掲載 P32～P33
- ・令和3年度から令和6年度に実施する事業の一覧を掲載 P34～P59
- ・事業ごとに、事業概要、担当部局、新規事業、年度別、六つの取組の視点を掲載
- ・次期総合計画で掲載されているKPIなどの内容や令和4年度当初予算で取り組む新規事業を反映

①KPI数：27

②実施事業数：175事業（うち新規事業数：21事業） ※ 重複事業を除く

- ・古代から近代までの豊富な文化財： 79事業（うち新規事業数：14事業）
- ・地域に根づく伝統文化： 18事業（うち新規事業数：3事業）
- ・市民生活に根づく茶の湯文化： 24事業（うち新規事業数：3事業）
- ・小泉八雲が五感で感じた松江の生活文化： 27事業（うち新規事業数：2事業）
- ・市民とともに育む文化芸術活動： 31事業（うち新規事業数：4事業）
- ・伝統文化芸術活動の拠点となる施設： 42事業（うち新規事業数：2事業）
- ・宍道湖、堀川、中海等の松江的景観： 36事業（うち新規事業数：3事業）

- ③主な新規事業：文化財情報デジタル化推進事業、松江の文化力次世代育成・継承事業、郷土芸能継承発展事業(地域伝統芸能祭)、松江そば文化ブランド化推進事業、職人商店街創出事業、「松江・森の演劇祭」観劇事業、プラバホール音楽振興事業など